

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公表番号】特表 2007-516722(P2007-516722A)
 【公表日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-024
 【出願番号】特願 2006-546978(P2006-546978)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 M 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サンプルから核酸を単離する方法であって、以下の：

装填用チャンバ、バルブ付処理用チャンバ、および混合用チャンバを含んでなるマイクロ流体装置を提供するステップと、

核酸含有材料および阻害物質を含んでなるサンプルを提供するステップと、

沈殿試薬を提供するステップと、

前記サンプルを前記装填用チャンバに入れるステップと、

前記サンプルを前記バルブ付処理用チャンバに移動させるステップと、

前記沈殿試薬を使用して前記バルブ付処理用チャンバ内に前記サンプルの濃縮領域を形成するステップ、ここで、前記サンプルの濃縮領域が前記核酸含有材料の大部分を含んでなり、サンプルの濃縮度の低い領域が前記沈殿試薬の少なくとも一部および前記阻害物質の少なくとも一部を含んでなり、

前記バルブ付処理用チャンバ内のバルブを始動して前記サンプルの濃縮領域の少なくとも一部を前記混合用チャンバに移動させ、前記濃縮領域の少なくとも一部を前記サンプルの濃縮度の低い領域から分離するステップと、

場合により加熱して前記混合用チャンバ内の核酸含有材料を溶解して核酸を放出するステップと、

場合により、放出された核酸を含んでなるサンプルの pH を調節するステップと、
 を含んでなる、前記方法。

【請求項 2】

サンプルから核酸を単離する方法であって、以下の：

装填用チャンバ、バルブ付処理用チャンバ、および混合用チャンバを含んでなるマイクロ流体装置を提供するステップと、

核酸含有材料および阻害物質を含有する細胞を含んでなるサンプルを提供するステップと、

沈殿試薬を提供するステップと、

前記サンプルを前記装填用チャンバ内に入れるステップと、

前記サンプルを前記バルブ付処理用チャンバに移動させるステップと、

前記沈殿試薬を使用して前記バルブ付処理用チャンバ内に前記サンプルの濃縮領域を形成するステップ、ここで、前記サンプルの濃縮領域が前記核酸含有材料の大部分を含んでなり、サンプルの濃縮度の低い領域が前記沈殿試薬の少なくとも一部および前記阻害物質の少なくとも一部を含んでなり、

前記バルブ付処理用チャンバ内のバルブを始動して前記サンプルの濃縮領域の少なくとも一部を前記混合用チャンバに移動させ、前記サンプルの濃縮領域の少なくとも一部を前記濃縮度の低い領域から分離するステップと、

前記混合用チャンバ内の核酸含有材料を溶解して核酸を放出するステップと、

場合により、放出された核酸を含んでなる前記サンプルのpHを調節するステップと、を含んでなる、前記方法。